

## 外食拡大 6年連続



2017年の外食産業市場規模が前年比0.8%増の25兆6561億円となったようです。6年連続の増加となっており、外食支出や訪日外国人の増加、法人の交際費の増加傾向などが要因として挙げられています。しかし、外食のピーク時は今から20年前、1997年の29兆円であり、世界的な経済状況などが大きく数字に影響しています。外食産業でも業態によって明暗がわかれており、寿司店やレストランなど飲食店は1.8%の伸び。居酒屋、料亭などでは落ち込みが目立ちました。

## 国産イクラ情報

国内のイクラの昨年産の在庫が1000トン繰り越されたまま、新たな北海道サケの漁期に入ります。在庫の多くは昨年高騰した道産とみられています。昨年は38年ぶりの凶漁で生産量は2300トンですから昨年ものの4割近くが売れ残ったという事になります。価格的に安いロシアやアラスカ産の供給が増え、先に売れたようです。生産者側は消費者を無視した価格設定と反省しつつ慎重に価格の形成に努める方向のようですが、外国産の新物も安くはならない見通しの中どうなるか。



## 入荷状況&商品情報



### ～底引き網漁解禁！～

いよいよ9月1日(土)より**底引き漁が解禁**となります。店頭には**3日(月)から**商品が並びます。海の状況次第ですが、昨年並みの入荷が見込めるのではないかとのことです。魚の脂ものりはじめ、一段と美味しくいただける季節です

●**底引き網漁**の解禁で魚種も増えてきます。甘エビ、ガスエビ、シマエビといったエビ類、毛ガニ、カレイ類、メギス、ミズウオなど(写真は左上から時計回りにシマエビ、ガスエビ、メギス、ミズウオ)  
 ●**養殖魚**(ブリ、カンパチなど)価格は値下がり気配もなく、しばらくは全般に横ばい、もしくは強含みの見込みです。

### 9月の主な魚種

甘エビ
シマエビ ◎
ガスエビ ◎
赤カレイ
ササカレイ
ハチメ
メギス ◎
ミズウオ ◎
ハタハタ



●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。